

# 『北東アジア研究』別冊の発刊にあたって

鳥根県立大学北東アジア地域研究センター長

宇野 重昭

鳥根県立大学北東アジア地域研究センター紀要『北東アジア研究』は、北東アジア地域研究センター（NEAR センター）の研究員や、客員研究員、NEAR センターが招聘した内外の研究者、センターの研究員と共同研究をおこなっている外部の研究者などの、北東アジア地域の研究に関する論文や研究ノート、書評などを掲載して年に二回刊行される。

ところでこの数年、NEAR センターの研究員を中核とする研究グループの活動がますます積極化してきている。一部のグループはその活動当初より、研究成果を書籍として刊行することを目指した計画のもとで、実際に書籍の形で成果を広く世に問うてきている。その一方、研究期間終了時に研究報告書を作成するグループもある。私の手元に届けられた研究報告書の中には、単なる報告書として終わらせてしまうには誠に惜しいと思われる、優れた内容のものが少なくない。

わがセンターの研究員とその研究グループの優れた研究成果である報告書を、NEAR センターの正式な刊行物として位置付け、学界への貢献のみならず NEAR センターにおける研究の蓄積とすることのできる場がないものかというセンター研究員からの提案に基づいて検討を進めた結果、センターの紀要である『北東アジア研究』の別冊として刊行しようということになった。

この別冊は、研究グループに与えられた資金の範囲内において、研究グループの自発的な申し出を受けて刊行されるものであり、NEAR センターの研究員に刊行を義務づけているものではないが、申し出のあったものならどのような研究成果にたいしても成果公表の場を提供しようとするものでもない。たとえば、科学研究費を得たプロジェクトのような、一定の評価と学問的水準を保っている研究成果にたいして、この場を提供したいと考えている。

NEAR センターの今年度からの新たな取り組みであるこの『北東アジア研究』別冊を、一つでも多くの研究グループが活用し、その優れた研究成果の公表のために役立てていただければ幸いである。

2008年3月